

3月定例会の報告

令和5年3月定例会が2月21日から3月23日までの31日間の会期で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告1件、監査報告5件、報告3件、人権擁護委員の推薦についての諮問5件、令和5年度一般会計予算など45議案からなる合計59の事件が上程されました。議決を要する51の案件のうち、報告1件、諮問5件、議案1件が可決され、残りの44の議案がそれぞれ、経済常任委員会、教育民生常任委員会、建設常任委員会、総務常任委員会に付託しました。

令和5年度一般会計予算の審議に先立ち、福田市長から「施政方針」が示されました。ウィズコロナ・ポストコロナを見据えるとともに、令和5年度は、今後10年間を計画期間とする第3次岩国市総合計画に掲げた施策を展開していくスタートの年であり、今後も新たな総合計画に基づき、これまでのまちづくりの流れを止めることなく、しっかりと取り組んでまいりたいとの方針が示されました。

続いて、「市民一人一人がいきいきと暮らせるまち（健康・福祉）」「創意工夫に満ちた活力あふれる産業と観光のまち（産業）」など岩国市の重要課題に対する7つの基本目標と、それを支える行政経営について説明がなされました。

一般質問は、3月3日から8日までの休会日を除く4日間で、19人の議員が登壇し、10周年を迎えた岩国錦帯橋空港の利用促進、本市の産業振興、錦帯橋周辺地域の総合的なまちづくりについて、みどりの食料システム戦略など、幅広い分野について活発な質問が行われました。

付託された各議案は、13日から4日間にわたって開催された4常任委員会において、審査が行われました。

最終日の23日、各常任委員会の委員長から審査報告があり、議案第10号「令和5年度岩国市一般会計予算」及び議案第20号「令和5年度岩国市水道事業会計予算」については賛成多数で原案のとおり可決され、それ以外の議案については、全会一致で原案のとおり可決されました。

続いて、新型コロナウイルスワクチンの接種体制整備のための経費として、補正額7億7,848万9,000円が計上された議案第46号「令和5年度岩国市一般会計補正予算（第1号）」が上程され、原案のとおり可決されました。

ここで、議員提出議案第1号「岩国市議会委員会条例の一部を改正する条例」及び議員提出議案第2号「昭和町藤生線早期完成のための米軍岩国基地内提供区域約5ヘクタールの返還の早期実現を求める意見書」が上程され、それぞれ、原案のとおり、全会一致で可決されました。

最後に、各常任委員会から閉会中に審査するための特定事件について申出があり、議決され、閉会となりました。

岩国市議会議長 桑原敏幸